

日本共産党市議団は

今後ともみなさんの声を届けてがんばります

日本共産党市議団がみなさんにお願いした市民アンケートに、切実な声がたくさん寄せられています。この声に応えて、日本共産党市議団は今後ともみなさんと力をあわせてがんばります。

介護保険料、その他の保険料が高く、
年金額が減り、生活が苦しい。

(97歳 男性 石垣)

障がい者が多いのに、道はでこぼこ、
段差はある。障がい者のことを考えて
ほしい。

(71歳)

インターネットで共産党の議員さんの
質問、追及を見せてもらっています。
別府市政について関心が湧いてきました。

(69歳 男性)

特別養護老人ホームが少ないと思う。
低所得者向けの特養老人ホームをつくっ
てほしい。

国保税・市民税が高すぎる。収入は
少なく、どうして払えというのか。

(54歳 女性 石垣)

安い年金生活で、どこに遊びに行く
にもお金はありません。少しの年金で
やっと生活しているなか、介護保険料
を6～7千円も天引きされ、食べてい
けないので、子どもに送ってもらって
いる。早く死ぬことを思っている人が
多いと思う。

介護保険料を下げてください。

神戸や横浜を参考に、海を生かした
まちづくりを。海沿いにパチンコ店や
ゲームセンターではうんざり。

小学校にエアコンを。職員室にはあ
るのに、なぜ教室にはないのですか。

(27歳 女性)

ウォーキングで地獄をめぐれるよう
に道路を整備して。柴石トンネルは古
くて怖い。



一輪草

別府市議会のホームページで本会議
の映像や過去の議事録を見ることが出
来ます。ぜひご覧下さい。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

発行責任者 平野文活

別府市石垣西8-2-31

TEL0977-22-6576

No.465

2011.5.18

<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

えんど久子市議が提案した にぎわい作りの取り組みひろがる



「血圧測定など簡単な健康診断や健康づくりの取り組みができないか」改選前の3月議会で、えんど市議は質問しました。保健医療課より「保健師や栄養士による健康相談・育児相談や情報提供・ミニ講演会など、心と体の健康づくり事業を検討したい」と、前向きな回答がありました。まちづくりなどに関するみなさんのご意見をお寄せください。知恵を出し合いましょう。

健康相談などを検討と答弁

中心市街地の商店街の
子市議はくり返し求めて
きました。
子育て支援の取り組み
や、ストレッチ教室など
が始まっています。

市役所も専門性を活かして努力を

えんど久子市議 宮城県でのボランティアへ

東日本大震災の被災地では、11万人を超える被災者がご苦労されています。

えんど久子市議は、5月24日から28日まで、日本共産党のボランティアの一員として、宮城県塩竈市で活動します。大分県から参加する5名と共に活動する予定です。

えんど市議は、2004年の新潟県中越地震の際にも、新潟県小千谷市などでボランティアをした経験があります。



2004. 11. 16～19. 中越地震のボランティアに参加した際の写真。新潟県長岡市の日本共産党救援センターにて。左から二人目がえんど久子市議。